



市川の教育 4つのPROJECT

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

本市では、子どもたち一人ひとりの可能性を育て
これからの時代に必要な資質能力を伸ばすために、
4つのPROJECTを推進していきます。

01

子どもの可能性を育てる

PROJECT

学びのスタイルをアップデートします。



学校教育ビジョン

「ことば」の力を育てる

積み重ねてきた読書教育の良さを
見直し、様々な教育活動を通じて言
語能力を高めます。

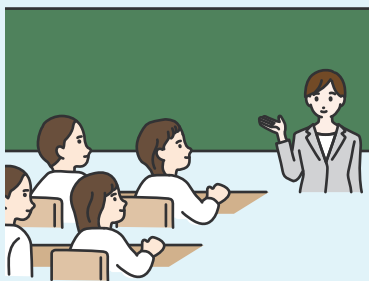
ことばの
チカラ



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

自分の課題を自分の方法で調べる学習・友達や大人たちと意見交換
しながら学習を進めることで学びを深めます。

これまでの学習



個別最適な
学び



協働的な学び



自ら課題を発見し解決する力を育む探究的な学び

自ら課題を見つけ、解決していく力を習得する探究的な学びを推進
します。

人と人をつなぐICT

一人1台端末をフルに活用した学習を行い、
様々なデータを連動させて個に応じた支援
を行います。



- すべての人の可能性を引き出す教育
- 学びの質の向上と学びの保障の実現
- ともに支え合う学びの環境整備



第4期教育振興
基本計画

02

子どものためにつなげる

PROJECT

家庭・学校・地域が一体となって、
子どもを育む教育を進めます。

コミュニティ・スクール

全ての公立学校に設置している学
校運営協議会と地域学校協働本部
を中心に「人をつなぐ」教育を進め
ます。

地域資源・人材の活用

国府などの文化資産、豊かな自然や
公共施設など、身近な教材を活用し
て「地域をつなぐ」教育を進めます。

幼児教育施設・小・中を つなぐ一貫教育

小中一貫教育を柱とした「未来へつ
なぐ」教育とともに幼稚園や保育園
と小学校の一貫教育を推進し、「か
けはしプログラム」を進めます。

コミュニケーションの 力を育む

ネイティブのALTによる英語の学
習、また、本市の中学生によるドイツ
の生徒とのホームステイによる交流
など「世界をつなぐ」教育にも力を入
れています。



03

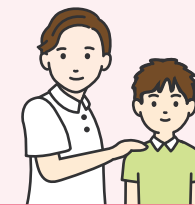
すべての子どもに

PROJECT

すべての子どもたちのウェル・ビーイングを目指し、
様々な視点からできることに取り組みます。

誰一人取り残さない学びの保障

各学校に複数のサポーターを配置し、学校の実情
に合わせた多様な子どもたちへの支援を行います。



切れ目のない支援

子どもや保護者に継続したきめ
細かな支援ができる体制をつく
ります。

多様な学びの場

不登校の子どもが学校で過
せるよう校内教育支援センター
を開室し、特別支援学級や通級
指導教室の全校配置に向け計
画的に開級します。

04

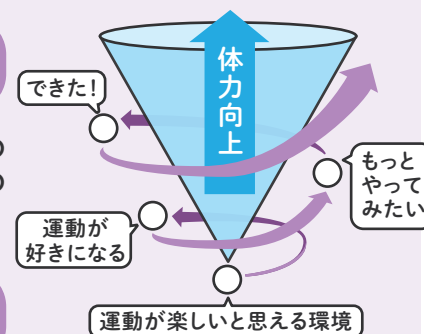
ヘルシーキッズ

PROJECT

本市が掲げる「健康寿命日本一」を
目指し、その礎を築きます。

「運動大好き！」な 子どもたちを育てる

「運動や体育が好きな子どもたち」の
割合を増やし、生涯にわたる体力の
向上につながる教育を進めます。



つなぐ・広がる未来を 育む食育

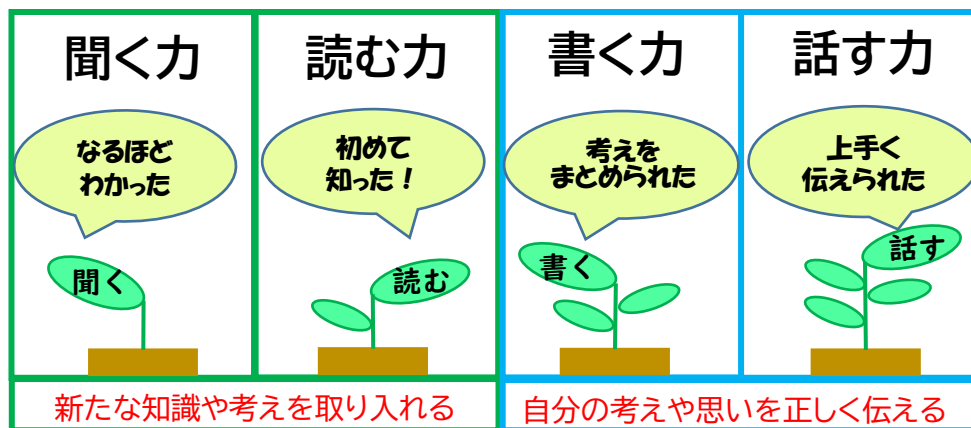
子どもたち一人ひとりが生涯にわたって心身ともに健康で生き生きとし
た生活を送ることを目指します。

01 子どもの可能性を育てる project

「ことば」の力を育てる

「ことばの力」とは？

全ての学習の
土台となる力です

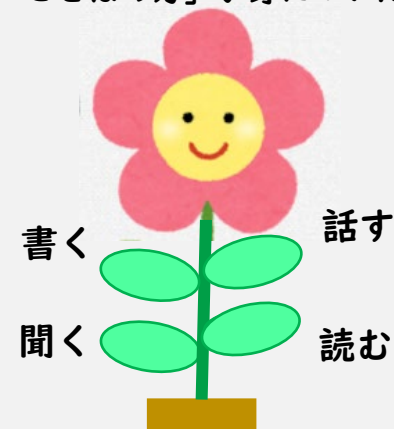


インプット

アウトプット

可能性が
大きく広がる

「ことばの力」が身についた



市川市では

全ての教科・領域で
ことばの力を育てます

1

様々な教科で本を活用し、
調べる(読む)

昔の暮らしは
どうなってるの？
(社会)

他にはどんな
作品があるの？
(国語)

この絵
すてきだな！
(図工)



2

調べたことをまとめる
(書く)

もう一度本で
確認してみよう。

この順番や表現
で伝わるかな。

もう少し説明を
具体的にしたら
いいかな。



3

まとめたことを発表する
(話す・聞く)

こういう言い方
の方が伝わるよ。

その話し方は
わかりやすいね。

自分の発表にも
活かそうだな。



01

子どもの可能性を育てる project

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

個別最適な学びとは？



協働的な学びとは？



一人ひとりの特性や興味
関心に応じて、子ども自身
が学習を進める学び

一体的な充実

多様な他者との交流を通
して、必要な資質、能力を
育成するための学び

一人ひとりに応じて
学習方法や教材、学習時間帯を
柔軟に設定。(指導の個別化)

一人ひとりに応じて
学習活動や学習課題に取り組む。
(学習の個性化)

友達、地域の人、教員など多様な
人との交流を通してよりよい学
びを生み出す。(協働的な学び)

個別最適な学びと協働的な学び
の一体的な充実のために、
市川市では

子どもたちが主体的に取り組む
実践を発信し、教職員の
授業力アップを目指します。

1

指導の個別化

小学5年算数科「割合」での
実践(学習方法の選択)



教科書で

タブレットで

先生に聞いて

課題に対して、
学び方を自分で
選んで
解決しています。

2

学習の個性化

中学2年理科「動物と植物の
細胞のつくり」での実践
(興味のある課題の選択)



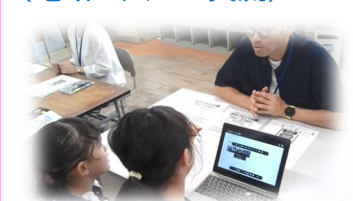
・細胞膜
・光合成
・呼吸
・核
等

生徒一人ひとりが自分がさらに追
究したい課題について調べています。

3

協働的な学び

小学3年社会科「事故や事件
からくらしを守る」での実践
(地域の人との交流)



地域の方から話を聞き、交流を
通して学びを深めています。



自ら課題を発見し解決する力を育む
「探究的な学び」

「探究的な学び」とは？

探究的な学びを通して、
・課題発見・解決能力
・情報活用能力
・自己有用感を高めます。

課題設定

情報収集

まとめ・表現

整理・分析



【「探究的な学び」で表れる子どもの姿】

①課題設定

子ども自身で課題を発見する。

②情報収集

友達、書籍、ICT、地域等から、課題解決に必要な情報を収集する。

③整理・分析

様々な情報を整理・分析し、課題解決に役立てる。

④まとめ・表現

自分の学びを振り返ったり他者に発信したりして、次の学びに生かす。

上記4つのサイクルを繰り返していく。

自ら課題を発見し解決する力を
育てるために、市川市では

各教科・領域において
探究的な学習を行います。

1

「自分で選び決定する」
場面の確保

「友達に」「インターネットで」「図書館で」等、課題解決を図る方法を自己決定し、自ら学ぶ意欲を高めます。



2

「協働的な学び」の推進

より良い課題解決には、他者との協働が不可欠です。必要に応じて家庭・地域とも協働できるような学習活動を推進します。



3

ICTの積極的な活用

情報収集や発信の場面等では、ICTの活用が有効です。子どもの必要に応じたICT活用を推進します。



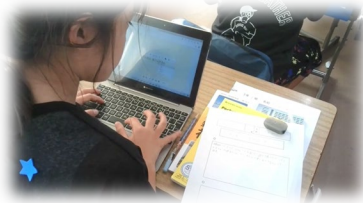
01 子どもの可能性を育てる project

I
C
T 今までの学びに
ちよつとずつ
取り入れる

人と人をつなぐICT

1 考えをつなぐ

市川市が採用している学習支援ソフトを活用することで、友達全員に自分の考えを瞬時に共有したり、友達の多様な考えに容易に触れたりすることができるようになります。考えや意見を可視化することで、子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現をサポートします。



2 時間や空間をつなぐ

Web会議システムを用いることで、これまで簡単には実現できなかったさまざまな人とのつながりを実現します。地域の方々や他の学校の児童生徒、様々な職業の人達と、時間や空間を超えてつながることで、子どもたちの学びが深化します。



3 データをつなぐ

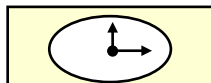
一人ひとりの学習状況や生活に関するデータをつなぎ、児童生徒の特性や能力に合った学び方の実現を目指します。



校内どこでもネットワークにつながる環境の実現を目指します！

02 子どものためにつなげる project

コミュニティ・スクール



1

子どもたち
「〇〇したい」

教職員
「〇〇に詳しい人いないかなあ」

地域
「子どものために何かしたい」

2

学校運営協議会

責任と権限を持った
15名以内の委員で行う会議

学校をどのように運営していくかを地域から選ばれた委員全員で共有する。
学校が抱えている課題や地域から見た学校の課題などを話し合い、課題解消に**つなげる**。

コミュニティ
クラブ

スポーツ
推進委員

自治会
子ども会

公民館
こども館

少年
補導員

放課後子ども
教室・保
育クラブ

保護者・PTA
おやじの会

民生委員
児童委員

地域学校協働本部

地域学校協働活動推進員

(地域や団体⇔学校を**つなげる**窓口)

様々なグループと推進員で作る地域学校協働本部が、子どもたちにとって大切な体験などを実現させて、子どもたちの成長に**つなげる**。

コミュニティ・スクールとは

市川市では、学校運営協議会と地域学校協働本部の2つの組織が両輪となって機能しています

3

子どもたちのために行う
協働活動



見守り活動



地域清掃活動

02 子どものためにつなげる project

地域資源・人材の活用



1 いじめの未然防止 を図ります

地域支援者が学校の授業に参加し、「いじめの未然防止」を図ることを目的とした、人権教育です。地域支援者に、子どもたちは「本音」で話し合ったり意見を言ったりできます。

2 地域の遊び場 を提供します

地域ボランティアで組織されており、「遊び」を通して、様々な体験活動が行われます。主に休日に行い、祭り、キャンプ、星空観察などの活動を通じて、子どもたちを支える地域の人の輪が広がります。

3 放課後の居場所 をつくります

小学校の余裕教室などを使って、放課後に子どもたちが安全安心に過ごすことができる居場所をつくります。学習支援や体験学習を実施し、地域力を活用した交流活動の機会も提供しています。

つ



学校支援実践講座

な



コミュニティクラブ

げ



放課後子ども教室

る

02

子どものためにつなげる project



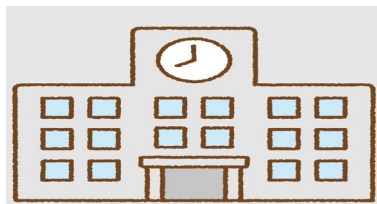
幼児教育施設※・小・中をつなぐ 一貫教育

幼児教育施設



※ 幼児教育施設とは、幼稚園・保育園・こども園の略称

小学校



中学校



1 幼児教育施設と小学校をつなぐ 2 小学校と中学校をつなぐ

幼児教育では、遊びを通して学びを芽生えさせ、小学校ではそれを伸ばしていきます。幼児期の学びを小学校の学習に円滑に接続することで、教育の充実を図ります。

もっと濃い色にしたいなあ...

色水遊び

こんな色を作りたいなあ...

自分でやってみたり、友達と一緒に試行錯誤したりした経験が、小学校での前向きで粘り強い学習につながります。

中学校教員による小学生への授業



小中一貫校では、9年生(中学3年生)が5年生に算数を教えるなど、場面に合わせて1年生～9年生で交流することができます。5年生にとっては、個別に教えてもらうことで学習意欲の向上につながり、9年生にとっては、思いやりの心を育む機会となります。

市川市では、塩浜学園、東国分爽風学園、信篤三つ葉学園を中心に、小中一貫教育を進めています。教育方針やカリキュラムを一貫させると、子ども達はよりスムーズに学び続けられます。また、中学校の教員が、小学校で授業を行うなど、工夫した指導を実施することが可能です。

9年生が5年生に教える算数科学習



02 子どものためにつなげる project

コミュニケーションの力を育む



グローバル人材
とは？

- ★ 高い言語力
- ★ 異文化理解力
- ★ チャレンジ精神
- ★ 日本人としてのアイデンティティ



1 言語力の向上

市川市では、小学校に、外国語活動指導員（日本語・英語の能力を有する人材）、中学校に、外国語指導助手（英語圏を国籍とする人材）を配置しています。他国の文化に触れ合い、異文化理解教育を進めると共に、全教科・領域で培った「ことばの力」を基にコミュニケーションの力を育みます。



2 自己表現力の向上

毎年「市川市中学校英語発表会」を開催しています。自分の考えを英語で伝えたり、聞き手の視点を考えたりする機会とし、グローバル社会で活躍するための土台を育成しています。

3

国際理解教育の推進

毎年、市川市のパートナーシティであるドイツのローゼンハイム市と、中学生の交換留学を行っています。

異なる文化を持つ人々と理解し合う経験をすることで、グローバルな視点を養うことを目指しています。また、日本を改めて見つめ直し、地域でも国際社会でも活躍できる人材が育つことを期待しています。

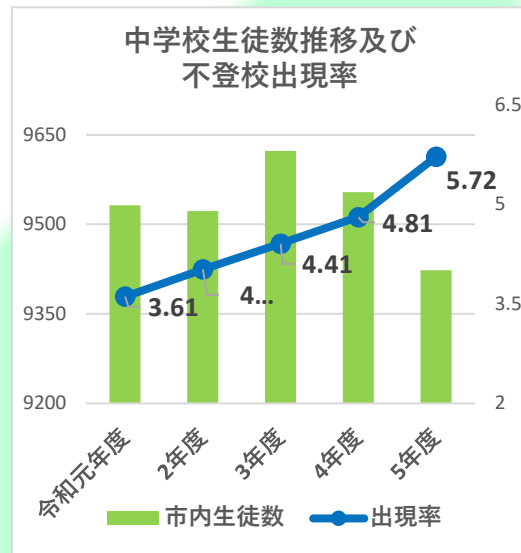
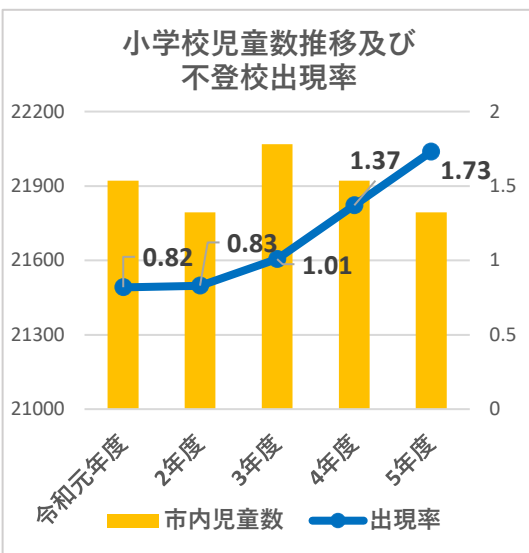


03 すべての子どもに project

誰一人取り残さない学びの保障

近年、全国では不登校児童生徒数が増加しています。市川市の現状としては、小・中学校の児童生徒数は減少しているのに対し、不登校児童生徒数は年々増加傾向にあります。

令和5年度、市川市の小学校では約58人に1人、中学校では約17人に1人が不登校となっています。



子どもたちが学校に行けなくなる背景やきっかけは、様々です。そのような子どもたちが、校内教育支援センターで安心して過ごせる居場所となるように『みらいサポーター』が見守ります。

みらいサポーターは…

子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、個々のニーズに合わせた支援を行います。どの子どもも安心して過ごせる居場所をつくります。



1 校内教育支援センターで子どもたちを見守ります

2 校内で子どもたちの学習・活動支援をします



03 すべての子どもに project

切れ目のない支援

義務教育就学前から、卒業した後まで、継続したきめ細かな支援を受けられるような仕組みを整えます。

就学前期

学齢期

進学・就労期

こども発達センター

発達に課題のある子どもと、その家族を支援する場所です。

- ・こども発達相談室
- ・あおぞらキッズ
- ・おひさまキッズ



教育相談・就学相談

子どもの発達の課題、子育ての悩みなどについて専門的知識を持つ相談員が保護者との面接による相談を行います。特別支援学級等への入級など、個に応じた学びの場についても考えていきます。

ほっとホッと訪問相談

子育てについての相談を電話で受けています。ご家庭やご都合の良い場所に直接出向いて相談できます。

カウンセラー等への相談

小中学校には心理療法士がおり、子どもや保護者の様々な相談を受けます。

進学支援

就労支援



ライフサポートファイル・市川スマイルプラン（個別の教育支援計画・指導計画）

03 すべての子どもに project

多様な学びの場

校内教育支援センター

不登校の状態・不登校の兆候が見られる児童生徒、一時的に気持ちを落ち着けたい児童生徒が、自分のペースで安心して過ごせる学校内の場所です。



通級指導教室

基本の学校生活や学習は通常の学級で過ごしながら、障がいの特性による課題に応じて必要とされる学習を行います。

《市川市に設置している通級指導教室》

・言語障がい ・難聴 ・発達障がい ・弱視 ・肢体不自由



日本語指導教室

日本語指導を必要とする児童生徒を対象に日本語を学習する教室です。



特別支援学級

知的発達や情緒面の課題などにより、特別な教育的支援が必要な子どもたちが、少人数で個に応じた支援を受けながら学習します。

《市川市に設置している特別支援学級》

・知的障がい ・肢体不自由 ・自閉症／情緒障がい

特別支援学校

様々な障がいのある子ども達が、障がいによる学習上、生活上の困難を克服し、自立を図れるように、個に応じた支援を受けながら少人数で学ぶ学校です。

《市川市に設置している特別支援学校》

知的障がい ※他の障がい種については県立支援学校があります。

院内学級

国府台病院に入院している児童生徒が通う自閉症・情緒障がい特別支援学級です。病院の敷地内に校舎があります。

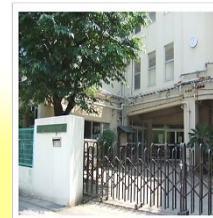


夜間学級

中学校を卒業していない方や卒業した方の中で学び直しをしたいと願う方が、夜間に中学校教育を行うことで義務教育を受ける機会を保障している学校です。



須和田校舎（中学部・高等部）

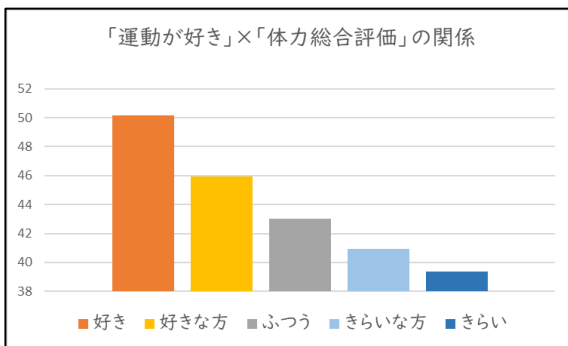


稲越校舎（小学部）



04 ヘルシーキッズ project

「運動大好き！」な子どもたちを育てる



※R6年度新体力テスト調査結果より作成、縦軸はTスコア
(全国の運動能力との相対値)

1 「本物」に触れる 機会をつくる

市川市近郊に拠点を置くスポーツチームと連携を図り、各競技のコーチによる授業の機会をますます充実させていきます。専門的な知識と技能を有するコーチが直接指導することで、子どもたちの技能向上を図るとともに、運動の楽しさを味わうことにつながります。



小1

「触れる」

2

「やりたい種目」を
「やりたいレベル」で
誰もが参加できるクラブ



マリーンズベースボール
チャレンジの様子

部活動地域展開を通して、生徒・保護者の多様なニーズに対応できるクラブづくり、少子化になっても持続可能なクラブづくりを目指します。

「親しむ」



「関わる」



3

豊かなスポーツライフ
につながる体育学習

子どもたちの成長に応じて、さまざまな運動に触れ、仲間とともに運動の楽しさや喜びを味わえる体育学習を各学校で展開します。また、体育学習を通じて、運動を「する」だけでなく、「見る」「支える」「知る」などの多様な関わり方で、スポーツに親しむことができる子どもたちの育成を目指します。



中3

豊かな
スポーツライフ



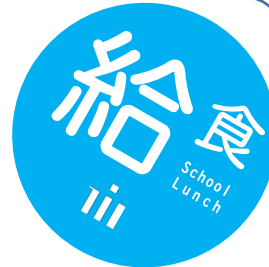
04 ヘルシーキッズ project

つなぐ・広がる 未来を育む食育

市川市立の学校の
給食費は

無償!

です。



「生きた教材」学校給食で

1

食の大切さや
楽しさを伝えます

バラエティに富んだ献立を通して、食への関心を高めます。
旬の食材を活用し、行事食や郷土料理を取り入れることで、伝統的な日本の食文化をつなぎます。
千葉県産・市川市産の地場産物を積極的に使用し、地産地消を推進します。

できたてをお届け！
自校給食



市川の海苔佃煮給食



そら豆のさやむき体験

学校全体で

2

教育活動を通じて
健康な身体と心を
支えます

子どもたちの現状に合わせた「食に関する全体計画」を立て、教科横断的に食育を推進します。様々な知識をつなぎ、関連づけ、活用できる子どもたちの育成を目指します。

家庭と連携して

3

食に関する正しい知識と
望ましい食習慣を広げます

栄養士や栄養教諭が、給食便りや学校ウェブサイトを活用して、健全な食生活を実践するための正しい知識を普及・啓発します。



栄養教諭の食育指導

